

平成25年9月市議会定例会一般質問発言通告書（発言順）

◎ 代表質問

いばら月曜会

11番 西田久志

1. 第6次総合計画後期基本計画について

第6次総合計画後期基本計画の新規事業計画について

- 1) より良い学級集団づくり推進事業について伺う。
- 2) 井原市地域福祉計画の策定について伺う。
- 3) 「おもてなしの心」啓発事業について伺う。
- 4) 「井原市再生可能エネルギー推進ビジョン」の策定について伺う。

2. 教育行政の現状と今後について

学校運営及び学校施設の充実について

- 1) いじめ及び学級崩壊について伺う。
- 2) 学力向上に向けての現状と今後について伺う。
- 3) 複式学級編成の現状と今後について伺う。
- 4) 2学期制及び3学期制のあり方について伺う。
- 5) 学校施設の耐震化の現状と今後について伺う。
- 6) 学校図書の充実について伺う。
- 7) IT機器整備の現状と今後について伺う。

◎ 個人質問

6番 三宅文雄

1. 結婚推進事業の進捗状況について

①事業開始後の取り組み状況と成果について伺います。

②今後の事業展開をどう進めていこうとしているのか伺います。

2. ごみ集積所の施設整備状況について

①現在までの施設の整備状況について伺います。

②今後の施設整備に対する考え方について伺います。

7番 坊野公治

1. 市内事業所・商店の活性化について

1) 市内の事業所・商店を利用してもらうため、市内で利用できるポイントカード制度を導入してはどうか伺う。

2) 新規に事業を始める方(小売業・サービス業・飲食業)を支援する方法として、チャレンジショップを設置してはどうか伺う。

2. 井原市立図書館について

1) 現在の井原市立図書館の利用状況について伺う。(井原図書館、芳井図書館、美星図書館、移動図書館)

2) インターネットでの検索システムを発展させ、宅配貸出サービスを行ってはどうか伺う。

3. 井原駅周辺の発展について

現在空き地となっている井原駅東側の土地を市が購入し、井原駅周辺のにぎわい創出に活用してはどうか伺う。

20番 森本典夫

1. 2学期制検証委員会のこれまでの検証内容と今後の見通しは

これまでに2学期制検証委員会が2回開催されています。これまでの検証の内容はどのようなものでしたか。

10月23日には3回目が開催され結論が出されるようですが、もし結論が3学期制復活ということになれば、教育委員会としては、今後どのような対応になりますか、見通しをお示してください。

2. 幼・小・中・高等学校の普通教室にエアコンの設置を

私はこれまで数回このことを提起してまいりました。ちょうど1年前の3回目の質問に教育長は「幼・小・中、市立高校のエアコン設置につきましては、井原中学校の改築のめどが立つまでに、先ほど述べました課題に対する調査研究を進めてまいりたいと考えております。」とお答えになりました。来年度一部の学校にでもエアコンを設置するということになりませんか。

また、市立高校については、移転・新築計画が進んでいます。普通教室にもエアコンが設置されるのでしょうか。

3. 市として就労継続支援A型事業所の創設のために強力な援助を

井原市には就労継続支援B型事業所は3箇所あります。残念ながら就労継続支援A型事業所はありません。したがって井原市在住の関係者10人ほどは、お隣の笠岡市の4事業所まで通所している状況です。

就労継続支援A型事業所通所希望者の要望に応えるため、第6次総合計画の基本目標2の基本施策3の障害者福祉の充実の項の「現状と課題」と「基本方針」に沿って、市として、就労継続支援A型事業所を創設する人材（会社等）を探すことも含め、強力に援助すべきではないですか。

4. 住宅リフォーム補助金事業を来年度も継続し、制度のさらなる充実・改善を
現在、住宅リフォーム補助金事業は3年目です。来年度も継続すると同時に、より一層地元業者や住民の期待に応えるため、制度をさらに充実・改善してはどうですか。
5. 各地にある「避難場所」という看板の更新を
市内の避難場所に掲げられている「避難場所」という看板の文字が消えかかっている箇所があります。この箇所の看板を更新してはどうですか。
6. 幹線の道路標識を一層改善・充実しては
以前、幹線道路の交差点等に道路案内標識の設置を提起し、一定程度改善されました。しかし、まだ不十分で、市道の道路案内標識を見て県道や国道の交差点まで出た時に、目的地に行くには左右どちらなのかという道路案内標識がない箇所があります。国交省が示す道路標識設置基準では「設置にあたっては、各種標識の機能を十分考慮のうえ一貫した情報提供がなされるよう体系的に整備するものとする」とされています。この観点に立ち、市内の交差点を総点検し、必要な箇所に道路案内標識を設置してはどうですか。
7. 「フットサル」のできる会場（施設）を増やし競技人口増を目指しては
井原市内には「フットサル」ができる施設は1箇所しかないそうですが、サッカーの競技人口は年々増加していると思います。
したがってこれによく似た「フットサル」の競技人口も今後増加するのではないかと考えます。「フットサル」のできる会場（施設）を増やし、「フットサル」競技人口増を目指してはどうですか。

9番 上野安是

1. 企業誘致活動について

- ①この1年間の活動状況について伺う。
- ②企業誘致に関し専門の課を設置してはどうか伺う。

2. ふるさと井原魅力発見事業について

井原に住む子供たちがふるさとの魅力を見出せるよう支援していくことは重要だと考える。

現在進めている事業と今後の推進計画について伺う。

5 番 惣 台 己 吉

1. 公共施設の整備について

1) 井原バスセンター整備計画と進捗状況について伺う。

2) 市立高等学校新校舎建設の進捗状況について伺う。

3) 井原市立美星国保診療所整備事業の進捗状況について伺う。

2. 熱中症対策について

①市内の7月、8月の熱中症患者の状況について伺う。

②学校現場での熱中症対策について伺う。

③井原市井原体育館に冷房設備を設置してはどうか伺う。

1 4 番 大 鳴 二 郎

1. 子ども達を守る安心・安全な地域について

本市でも登下校時につきまとい等が発生しているが、子ども達の安全対策について、市ではどのような対応を行っているか伺う。

また、子ども達を守る「子ども110番の家」の周知については、どのようにしているか伺う。

2. 公共施設の耐震診断・耐震改修の進捗状況について

平成24年度での耐震改修は終わりに近いと思われるが、どのような耐震改修をされたのか伺う。

3. 市道の草刈りについて

地元地区で年に何回か草刈りを行っているが、すぐ草が大きくなって通行の妨げになって危険である。

そこで国道等で行っているように、現在草刈りをしている範囲をコンクリートにしてはどうか伺う。

18番 森下金三

1. 企業誘致事業について

第6次総合計画後期基本計画で、活力を生む産業のまちづくりの中、基本施策として「工業の振興」と位置付けて新規企業誘致数（累計）目標値（H29年度）2社とあります。その誘致企業および誘致方針について伺う。

2. 観光資源の開発、整備について

小田川の自然環境を活かして、岡山県の名勝である天神峡の整備について伺う。

3. 農林業の振興について

農業従事者の高齢化や後継者不足により、農地の荒廃が進んでいます。このため担い手の育成を図るべく様々な取り組みが行われていますが、特に新規就農者に定住してもらうためには住宅を確保する必要があります。そのための施策について伺う。

1番 西村慎次郎

1. 平成25年度全国学力・学習状況調査結果について

平成25年度全国学力・学習状況調査に関して、

①平成25年度の井原市の学力・学習状況の調査結果

②調査結果からわかる課題

③今後の対策
について伺う。

2. 地方版子ども・子育て会議について

地方版子ども・子育て会議に関して、

①組織づくり状況

②人選方法

③井原市としての方針
について伺う。

3. 集中豪雨（ゲリラ豪雨を含む）について

井原市の集中豪雨に関して、

①今年度、昨年度の井原市での発生状況

②今年度の井原市での被害状況

③発生時の市民へのお知らせ方法

④避難が必要となった場合、高齢者（特に一人暮らしの高齢者）の避難に対する対応

⑤集中豪雨による被害を最小限に抑えるための災害防止対策状況
について伺う。

4. 緊急告知端末器「お知らせくん」について

①緊急告知端末器「お知らせくん」の、

- ア. 現在の設置状況及び利用状況
- イ. 現状の課題
- ウ. 現状の課題を踏まえた今後の対応について伺う。

②次の事項について、市としての対応及び考えについて伺う。

- ア. 一般企業向けへの「お知らせくん」の配布
- イ. 1世帯複数台設置希望者への配布
- ウ. 耳が不自由な方への対応
- エ. 光ファイバー導入による影響
- オ. 建物内のケーブルの老朽化に伴う音声不良に対する対応

8番 藤原浩司

1. 介護保険事業等、全般について

- 1) 井原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）の進捗状況を伺う。
- 2) 要介護認定について、認知症の方への認定調査は、どのような方がどのような項目について調査をしているのか。また、そうでない方の調査との違いは、どのようなことか伺う。
- 3) 認知症高齢者対策について、普及啓発の推進、予防対策の推進、状態に応じた施策の推進、認知症高齢者とその家族を支える地域づくりは具体的にどのように考えているのか伺う。
- 4) 介護保険料について低所得者にどのような配慮をされているのか伺う。

1. 市民病院の財政状況等について

- 1) 市民病院の財政状況について伺う。
- 2) 院長の病院改革の主眼点について伺う。
- 3) 病院内の投書箱の意見の内容について伺う。
- 4) 投書箱の意見に対し、どう対応したか伺う。

2. 井原市の危機管理体制について

- 1) 市職員の配置は、どのようになっているか伺う。
- 2) 地震や水害等が起きた時に、消防・自衛隊との連携はどのようになっているか伺う。
- 3) 近隣市町との連携について伺う。
- 4) 市民病院等の医療機関の自家発電体制について伺う。

1. 井原市第6次総合計画前期基本計画の成果と今後の取組について

井原市第6次総合計画後期基本計画の中で、前期基本計画の成果として、基本目標1～6が提示されていますが、その中でも目標達成率60%未満の項目について、

- ①健康寿命がのびるまちづくりの中の特定健康審査受診率(37%見込)
- ②地域で支え合うあたたかいまちづくりの中の救急・医療体制の整備の満足度(19%見込)

③活力を生む産業のまちづくりの中の新規企業誘致数(0社見込)及び空き店舗の活用店舗数(1店舗見込)

④人材が育ち活躍できるまちづくりの中の新規起業数(0件見込)及び新商品開発事業(4品見込)

以上の項目における達成率及び後期基本計画での達成率向上の取り組みについてお伺いいたします。

2. 井原高校裏山の墓地における道の整備及び駐車場の確保について

井原市内で墓地の数が最大である井原高校裏山の墓地において、お盆・正月及び法事が重なる時には車の数が非常に多く、現在3台の駐車場と1件のお寺専用の駐車場があるだけで、路上駐車はもちろん、近所のハイツの駐車場などに止めているのが現状です。その結果、接触事故も多々起きています。

また、墓地の管理者としても、井原市と3件のお寺と個人所有があるので、対応するのが非常に難しいかもしれませんが、井原市の所有地もありますので、井原市が音頭をとって対応していただけないかお伺いいたします。

3. 県道高山芳井線の別ルート確立について

この県道高山芳井線は、毎年のように土砂崩れのために通行止になっており、いったん通行止になると何カ月も通行止のままという状態です。通常、芳井の町すじまで出るのに約10分ほどで行けるものが、花滝地区の方を回って行かなくては行けないので、約30分ほどかかるようになります。地元の人に聞くと、以前、井原市の方で別ルートの検討をされたことがあると言われていたようですが、その結果はどのようになったのか、また、別ルートの検討をしていただけるのかお伺いいたします。

4. 空き家コーディネーターの設置について

平成20年度から取り組まれている空き家バンク制度においては、7件の空き家バンク契約実績にとどまっております。今後もますます空き家が増えていくものと考えられます。空き家の状態が何年も続いていると倒壊する可能性が増えていきます。

先日も、ある個所で家の壁が道にくずれてしまいました。幸いなことに、道に

は車、人がいなくて大変な惨事にはなりませんでしたが。今後も、家が密集している所や道路沿いの空き家では、大惨事になる可能性を秘めております。

そこで、空き家バンク制度推進も含めて、このような空き家の放置状況を監視、管理するコーディネーターをどこかの課に設けていただけないかをお伺いいたします。

4番 柳井一徳

1. 食物アレルギーでのエピペン薬の対応と教職員への研修について

アナフィラキシーショックでのエピペンによる適切な対応のために学校全教職員への研修の必要性をどのように考えておられますか。

2. 太陽光発電を設置されていない学校及び休校中の学校への設置について

現在太陽光発電設備がない学校へ設置してはどうか、また、太陽光発電による電力蓄電設備を設けてはどうか伺います。

3. 学校給食の安全管理体制について

笠岡市の学校給食で異物が混入していたとの報道がありましたが、本市の学校給食センターの安全対策はどのようになされているか伺います。

12番 三輪順治

1. 市長の政治姿勢について

1) 「健康寿命日本一」井原について

県は去る8月末、県政運営の指針として新知事のもと、「晴れの国おかやま生き生きプラン案」を発表され、教育県岡山の復活、産業の振興、安心して豊かさが実感できる地域の創造を掲げられました。

プランの一つに、「健康寿命」の数値目標を掲げられました。平成28年度までの3年間において、男女ごとにその健康寿命を延ばすことを具体的な数字で県民に示されました。目標は、男性78.53歳、女性83.68歳。新知事の政治姿勢として、画期的・挑戦的なことであると思います。

市長は就任以来、政治スローガンとして「健康寿命日本一井原」を掲げられ、相当な取組をされていますこと、まず評価したいと存じます。

そこで何点かお聞かせください。

①健康寿命の意味と井原市における現状

②健康寿命延伸に向けた主な取組とその成果

③健康管理の面から、国保被保険者の医療費の推移と県内情勢

④「健康寿命日本一井原」の数値目標があればお聞かせください。

2) 再生可能エネルギーの活用について

市では現在、再生可能エネルギーの活用策などについて検討されているとのことですが、何点かお伺いします。

①再生可能エネルギーの種類と市内における活用の可能性についてお伺いします。

②公共施設への適用、民間における支援策について具体的に分ければお示しください。

③原発事故とその教訓から、政治家でもある市長としての「原子力発電」利用の在り方もしくは考え方をお聞かせください。

2. 井原市における農業の振興について

国においては、「攻めの農林水産業」を目指し、「農業・農村の所得倍増目標」として、今後10年間で農業・農村の所得を倍増させる戦略を打ち出されています。

そこで、本市農業について何点かお伺いします。

1) 農業を取り巻く、現在の諸資源（人、土地、モノ、財政支援）の現状数値等についてまずお伺いします。

2) 農業を「産業」として維持・拡大させるための手法（人材、農地集約化、

農業技術ノウハウ、財政支援など) について、具体的にお示しください。

3) 特に農業部門の法人化支援、6次産業化について、市長のお考えをお聞かせください。

4) 農業で自立した生活ができる目標所得の設定と、そのための具体的な手法についてお伺いします。

3. 減災・防災対策について

現在、県において国の改定に合わせ「新防災計画」の策定が行われていると仄聞いたしております。

そこで、本市の防災計画の見直し作業の進捗状況についてお伺いします。

1) 前回の防災計画と大きく違う点と、市民に対する啓発活動及びイザという時の市民の具体的な行動指針についてお尋ねします。

2) 次に耐震対策についてであります。

①旧耐震基準で建築されている、つまり、昭和56年5月以前に建築された木造の民間住宅の耐震度は、今後想定される東南海等3連動地震の震度を6弱と想定した場合には、倒壊の危険性など大変危惧されますが、今日時点までの現行の耐震診断や改修に要する補助制度の利用実績についてお伺いします。

②該当する住宅に生活されている市民の耐震診断に係る自己負担額はいくらですか。また、こうした制度があることを、市としてどのような手段で啓発されていますか。併せてお尋ねいたします。

3) 市が管理する道路、橋、上下水道などといったインフラ基盤の維持管理、また、市の管理する体育館、公民館等の、いわゆるハコモノの維持管理についての基本的な取り組み状況と、将来における維持管理計画あるいはメンテナンス計画についてお伺いします。

1. 井原鉄道の現状と今後について

①井原鉄道の利用状況について伺う。

②井原鉄道に対する今後の市等の支援について伺う。

2. 地震対策について

①3連動地震が想定される中、本市における地震対策について伺う。

②本年、耐震改修促進法が改正されたが、本市としての今後の対応について伺う。

1. 災害対策の拡充について

1) 本年6月17日に「災害対策基本法の一部を改正する法律」が参議院本会議で可決・成立し、6月27日より公布・施行されました。今回の改正で今までは努力義務とされていた高齢者・障がい者等の災害時避難行動要援護者名簿の作成が明文化され、また、本人の同意により消防や民生委員に情報提供が可能とされています。本市でも減災対策の取り組みとしてすでに名簿化が進んでいると考えますが、現状と今後の取り組みについてお聞かせください。

2) 本市の東海、南海連動地震の際の震度予測が震度6弱と上方修正され、それに伴う被害予測も変更となりました。さらに、昨今、激増する集中豪雨（ゲリラ豪雨を含む）や洪水などでの災害被害の危険度が増す中、避難所となる現状の施設の安全性と生活必需品等の備蓄品の拡充が必要ではないかと考えますが、本市の今後の取り組みについてお聞かせください。

2. 中学生対象のピロリ検査について

胃がんの主原因とされるピロリ菌は主に幼児期に感染するとされ、早期発見・

早期除菌により発病リスクを低減することができると言われていています。県内の真庭市が本年8月から中学生2・3年生を対象にピロリ菌検査の無料化を全国初の取り組みとしてスタートしています。真庭市では2011年から、40歳以上を対象にピロリ菌感染と胃の老化を調べ、胃がんリスクを判断する「ABC検診」の助成制度を導入されていましたが、今回の制度導入は若年層にも検査を受けられる体制を整備してほしいとの要望に応じての取り組みと聞いています。本市としても胃がん撲滅に向けての積極的な取り組みとして導入を期待しますが、本市の考えをお聞かせください。

3. いじめ防止対策推進法について

いじめ防止対策推進法が本年6月に成立しました。この法律制定の機縁となったのは滋賀県大津市の中2男子の自殺であります。この自殺に対する学校や教育委員会の対応が大きな社会問題となりました。また、その後もいじめが原因と思われる悲慘な自殺が相次いだことにより、対策が法制化されたものです。

内容としては、学校にいじめの早期発見や防止のための組織の設置を義務付け、いじめがあった場合、学校は速やかな事実確認と被害者への支援、また、加害者への指導・助言を実施すること、さらに、犯罪行為には警察への通報義務等が明記されています。井原市教育委員会としてこの法律に対して、今後の具体的な取り組みについてお聞かせください。

4. ご当地ナンバープレートについて

全国的にご当地ナンバープレートを発行する自治体が増えています。私も以前、本市もご当地ナンバープレートの発行をして知名度アップに繋げてはと提案しましたが、その時点ではデザインの案はありませんでした。しかし、本年、市制施行60周年の取り組みの中で、マスコットキャラクター「でんちゅうくん」が誕生しました。本市としても「でんちゅうくん」を活用した井原市の全国発信をお考えと思います。

私は、その一つの取り組みとしてご当地ナンバーに「でんちゅうくん」を活用しての発信をしてはと思いますが、本市のお考えをお聞かせください。